

かわさき星空調査

【はくちょう座を観察しよう！】 ～ 調査結果まとめ ～

調査期間： 令和6(2024)年8月24日(土)～9月6日(金)

調査内容：【はくちょう座】(図1)の1等星(①デネブ)～5等星(⑤)の5つの星のうち、何等星まで見えたか、ウェブフォームから報告。

回答内容項目：

- ①観測日時、②場所(区・町名)、
- ③何等星まで見えたか？(1等星～5等星、見えなかった)、
- ④観測時の天気(快晴・晴れ・雲多めだが晴れ・くもり)

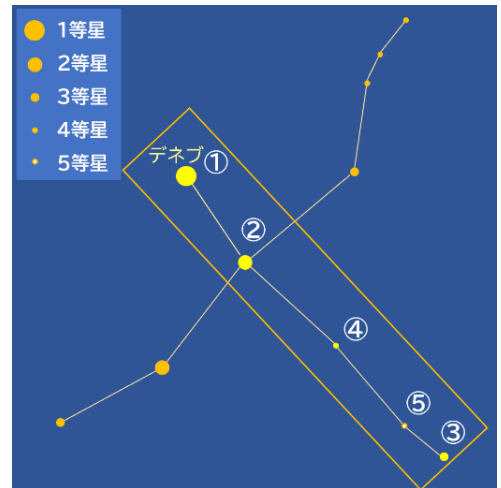


図1 はくちょう座星図

回答結果： 報告件数 80件、観測地点 57か所

[1] すべての回答の集計結果

[2] 雲多めだが晴れ・くもりを除いた回答の集計結果

観察場所 (区名)	報告件数	何等星まで 見えた？ (平均値)	最大値	最小値
川崎区	12	2.8	4	1
幸区	19	1.9	3	0
中原区	5	3.0	3	-
高津区	10	2.8	3	1
宮前区	5	2.8	3	2
多摩区	14	1.3	5	0
麻生区	15	2.6	4	0
計	80	平均 2.3	5	0

観察場所 (区名)	報告件数	何等星まで 見えた？ (平均値)	最大値	最小値
川崎区	12	2.8	4	1
幸区	9	2.9	3	2
中原区	5	3.0	3	-
高津区	8	3.0	3	-
宮前区	4	3.0	3	-
多摩区	4	3.5	5	2
麻生区	13	2.8	4	1
計	55	平均 2.9	5	1

・昨年度(令和5(2023)年)の報告件数(38件)、観測地点(21か所)と比べて共に2倍以上に増えた。

市内のたくさんの場所から調査にご参加いただき、ありがとうございました。

・調査期間中、台風などの影響で天気の良くない日も続いたが、観測時に「見えなかった」という結果も含めてすべての回答を集計した結果[1]では、何等星まで見えたかの平均値は2.3だった。

・観測時の雲の影響をのぞいた結果[2]では平均値2.9となった。

・区ごとの平均値では、多摩区(3.5)が最も高く、次いで中原区、高津区、宮前区(3.0)となった。

・最大値では、多摩区(5等星)、麻生区(4等星)、川崎区(4等星)の3区で、3等星よりも暗い星が見えた報告があった。周辺地域と比べて空が暗く、星を見るのに適した場所があることが考えられる。

・回答いただいた区・町丁名をもとに、市内での調査結果分布のマップを作成した(図2)。観測地点の分布は、まばらではあるが沿岸部から内陸部まで広がっており、市内の多様な場所で調査をおこなうことができた。

マップから、3等星まで見えた場所は市内のほぼ全域に広がっていることがわかる。集計結果[2]での平均が2.9であることもよく一致する。

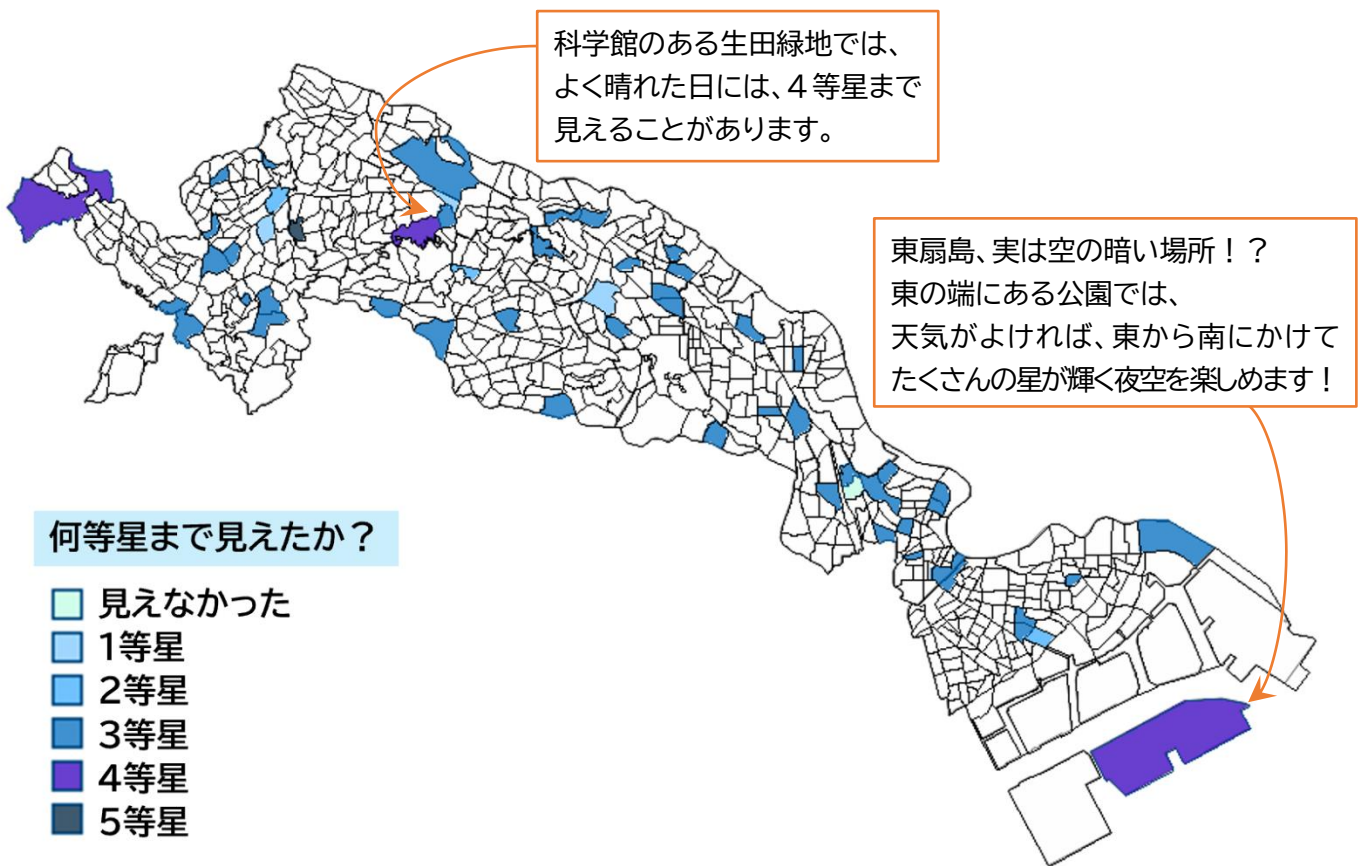


図2 川崎市内での調査結果分布
(町丁名ごとに色分け。同じ町丁名で複数結果がある場合は、より多い個数の色でプロットした。)

・3等星よりも暗い星まで見えた場所のうち、麻生区(黒川)、多摩区(柘形、西生田)は、市内でも山林の多く残された、比較的空の暗い場所であると考えられる。また、川崎区(東扇島)は物流関係の倉庫が多く建ち、間近に臨海部の工場夜景が楽しめる場所であるため、星が見えやすい場所としては意外にも思うが、人工島の先端部には明かりが少なく、暗い夜空を楽しめる場所の一つであることが考えられる。

・今年度の調査により、川崎市内のほとんどの地域で平均的に3等星までの星が見える可能性があることがわかった。今後も継続的に観察を続けていき、市内での星の見え方を未来へと伝えていく。

☆【はくちょう座を観察しよう！】は毎年夏季に実施しています。来年の調査にもぜひご協力ください！☆

・調査に参加しての感想：

- 同じ地域での星の見え方がわかって面白い。星の観察の楽しみが広がりますね。
- 誰でも参加できて楽しいと思いました。晴れていても、もやがかかったような感じで見えない日も多いです。はくちょう座には1~5等星まで揃っているのは知りませんでした。
- せっかくの出勤日に曇ってしまい、残念。とても楽しい企画なので、川崎市内に限らず、神奈川県内や東京都内の近隣エリアも対象にさせていただくと参加しやすく、また星空に興味を持つ人が増えるのではないかと思います。
- 夏の大三角ははっきりと認識できた。こんなふうに肉眼で見えるんだと改めて思いました。
- 長く見ていると、見えてきたり、雲に隠れて見えなくなったりする。街灯がもう少しなければもっと見えると思う。
- 空がせまいなと思いました。
- 街灯が明るすぎて星がほとんど見えませんでした。
- 川崎区でもよく見ると星空が見えるんだなと思いました。